



冬の雲と雄島

日本海の恵み

ずいぶん昔の事ですが、日本海は1500万年前に誕生しました。その日本海があるおかげで八峰町のみなさんの暮らしがあるということをお話したいと思います。もちろん、日本海がなければハタハタなどは取れずに水産業は成り立たないというお話は当たり前ですので、特に説明はいたしません。今年はずいぶん雪がたくさん降りました。特に同じ秋田県の湯沢ジオパークでは大変な量の雪が降ったそうです。雪というと「雪かきがたいへん」とか「屋根から雪が落ちて危険」とかマイナスのイメージががちです。でも、雪はとけると水になりますので、たいへん貴重な水資源となるのです。

そこでどうして秋田県には雪が多いのか専門家に聞いてみることにしました。お答えいただくのは、秋田大学教育文化学部の本谷研准教授です。本谷先生のご専門は気象学・雪水学。冬になるとよく雪に穴を掘って観測を行っています。

Q「本谷先生、どうして東北地方、特に秋田県には雪が多いのでしょうか？」

本谷先生「それは日本海を北に流れる暖流のおかげです。シベリアから吹いてくる冷たい冬の季節風は日本海で暖流である対馬海流と出会います。暖かい海面から水蒸気と熱とが季節風に加わり、雲が発生し、どんどん発達しながら日本に上陸する事にな



駒ヶ岳と素波里ダム

ります。さらにそれが山脈にあたりと雪が降るわけです。」

Q「なるほど、日本海がなければ雪も降らないということですね。高い山があると雪がよく降ると聞きましたか・・・」

本谷「はい、たしかにそうです。東北地方の山は標高が高くなればなるほど雪がたくさん降ります。だから、白神山地にもたくさんさんの雪が降るのです」

Q「白神山地はありがたい存在ですね。雪がたくさん降ると言ってもそれはどのくらいなのでしょう？」

本谷「大変な量の雪が降ります。ざつと計算して、東北6県でいただきたい大

型ダム100個分くらいですね。田沢湖をマスにすると3杯から4杯分くらいになります。しかも、春になると低い所からだんだんと雪がとけて行きます。時間をかけてとけて行きますので、ずっと水が流れてくるというわけです」

Q「それは本当に天然のダムですね。乾燥した国土を持つ国から見るとたいへん贅沢な話です。日本海と白神山地による恵みがよくわかりました。今日はどうもありがとうございます」



秋田大学教育文化学部

教授 林 信太郎

八峰白神ジオパーク推進協議会

〒018-2612

秋田県山本郡八峰町八森字ノケソリ116

旧岩館小学校内

TEL 0185-78-2427